

## 第51回アジア医療勉強会（WEB開催）

### 「医療と介護—三つのベクトル」

■日本の医療・介護は、度重なる制度改革や高齢化などによって変わり続けていますが、その本質や、変化の大きな流れを、①専門分化、②事業化、③公平化という3つのベクトルからとらえ、これからを展望します。

■この3つのベクトルの強弱は国によって異なり、例えば日本は「公平化」のベクトルが強く、患者はどこの医療機関でも受診でき、負担する金額は支払える範囲に留まっていますが、「専門分化」と「事業化」は弱い。これに対してアメリカは「専門分化」と「事業化」が強く、お金があれば最高の医療を受けられますが、「公平化」は弱く、医療費が個人の破産する大きな要因になっています。（著書より）

日時：令和3年6月30日（水）

★WEB開催致します。後日手続きについてご連絡いたします。

講師：池上直己（いけがみ・なおき）

慶應義塾大学名誉教授 久留米大学客員

1949年東京都に生まれる。1975年慶應義塾大学医学部卒業。1981年医学博士。慶應義塾大学総合政策学部教授、ペンシルベニア大学訪問教授、慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授、聖路加国際大学公衆衛生大学院特任教授などを経て現在に至る。医療・病院管理学会理事長、医療経済学会会長、及び中医協の調査専門組織委員や終末期医療に関する意識調査等検討会委員などを歴任。

〈主な著書〉『日本の医療 統制とバランス感覚』（J. キャンベルと共著、中公新書、1996）、『臨床のためのQOL評価ハンドブック』福原俊一 他と編著、医学書院、2001）、『インターライ方式ケアアセスメント』（モリス他と編著、医学書院、2011）『包括的で持続的な発展のためのユニバーサル・ヘルス・カバレッジ 日本からの教訓』編著、世界銀行、2014）、『日本の医療と介護 歴史と構造、そして改革の方向性』（日本経済新聞出版社、2017）、『医療管理 病院のあり方を原点からひもとく』（医学書院、2018）